

2026 年度 総合型選抜 A O 入試 < 第 2 次選抜 > 小論文

【農学部 農業生産学科】

次の、バラク・オバマ元米国大統領の「農業と林業の未来」に関する下線の提案について、あなたの考えを横書き 600 字以内で述べなさい。

「農業と林業の未来」

物理学者と化学者の研究は、福利、サービス、グローバル化された技術（特に IT）を多面的に提供することで、現代の産業社会が個々から複雑性へ移行するために大きく貢献しました。生物科学は、将来の社会変革に大きなチャンスを与えると考えられますが、チャンスを最大限に活用するには、科学的問題について真剣に議論し理解することが必要です。生命科学の知識を利用して得られる恩恵は、それを受け入れる場合にのみ得ることができます。その受け入れをする方法を見つけることは、今日の主要な政治的および科学的課題の 1 つです。

ヨーロッパおよび日本には、現代の植物育種の可能性を左右する大きな問題があります。一方、真剣な議論を阻む楽観主義は世界の至る所に存在しています。これは、2009 年 1 月 20 日のワシントンでバラク・オバマ米国大統領が演説した内容です。「私たちは、私たちの生き方が間違っているとも思いませんし、防衛態勢が揺らいだりすることはありません。しかし、私たちのエネルギーの消費の仕方が敵を強くし、この地球を脅かしていることを示す新たな証拠を毎日のように目にします。」

この問題に対処するために、つまり国の安全と地球の存続を守る生活を維持するために、オバマ大統領は次のように提案しています。「科学を正当な地位に戻し、技術の驚異的な力を使って医療の質を向上させ、コストを下げます。太陽や風や土壌を利用して自動車を走らせ、工場を動かします。」

出典：ボスマー他著、『GMO の将来-持続的農業のための科学と植物育種-』 2024. (三恵社) より一部改変